## ②磯焼け海域におけるコンブ藻場の保全

（チェーン振り実施海域）
次年の繁茂状況

令和元年1月11日　日刊宗谷

宗谷郡部版

# 石灰藻を一掃

## コンブ着生促す

### 数十年ぶり磯焼け対策

利尻漁協

菰樽開き"亥年"を祝う

豊富町連合町内会　各界代表が集い交礼会

あす鬼脇1、2自治会合同新年会

【利尻富士】鬼脇第1・2自治会合同新年会は12日午後6時から鬼脇公民館で開く。家族連れ含め地域住民が大勢集まり、賑やかに過ごす。



## ③昆布の魅力発信による付加価値向上、消費拡大

### 【利尻昆布株主事業（オーナー制）】

⇒和食に欠かせない「昆布」の魅力・素晴らしさを全国に広める
⇒漁業者と消費者を直接結び付け消費の拡大・付加価値向上を図る

・昆布の養成綱1mを1株（15本）としてオーナーを全国に募集
⇒昆布の生育状況等を伝えるオーナーニュースの発行
⇒利尻島に訪れた方に漁業体験の実施（コンブ干し体験）
⇒昆布のレシピ等を記載したパンフレットを同封し昆布を発送

発送された利尻昆布

オーナーニュースの発行

昆布干し体験

## ③昆布の魅力発信による付加価値向上、消費拡大

| 昆布株主事業 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|
| 募集株数 | 50株 | 200株 | 200株 |
| 申込者数 | 102名(126株) | 220名(252株) | 179名(210株) |
| 株主決定 | 74名(93株)<br>うち道内67名<br>うち道外7名 | 176名(197株)<br>うち道内108名<br>うち道外68名 | 177名(209株)<br>うち道内95名<br>うち道外82名 |
| 漁業体験(昆布干し) | 2組4名<br>道内2組 | 5組9名<br>道内2組、神奈川県2組、埼玉県、宮崎県 | 5組8名<br>道内2組、神奈川県2組、東京都、埼玉県 |



## 利尻昆布株主事業の取り組み(新聞記事)

2022年2月15日 Yahoo!ニュース(読売新聞オンライン)↓

利尻昆布のファン獲得へ「株主」募集、応募殺到で締め切り前倒し

読売新聞

北海道利尻富士町は、利尻昆布のファンを増やそうと募集していた昆布の「株主（オーナー）」について、予定販売数の2倍以上の応募があったため、今月28日だった締め切りを前倒しして13日夜で締め切った。販売数を増やし、応募者全員が株主になれるように調整するという。

株主の募集は、1株（最低するロープ1メートル分）を1万5000円で8日から販売。収穫された昆布が届けられるほか、漁師と交流できる昆布干しなどの体験プログラムが用意されていた。

町産業振興課によると、販売予定の50株に対し、13日昼までに札幌市など道内外の80人以上から100株以上の応募があったため募集を締め切り、町のホームページなどで発表した。

同課の担当者は、「想像以上の反響。締め切りの前倒しとなり申し訳ないが、漁業や町に興味を持ってもらったことに感謝したい」と話した。

2023年2月27日 水産新聞 →

2022年2月10日 日刊宗谷 ↓

2022年(令和4年)2月10日 (木曜日) (2)

宗谷郡部版

# リシリコンブ株主〝募集〟

利尻富士町・利尻漁協鷲泊地区部会

## 生産者と交流も

全国からオーナー求む

水産新聞 2023年(令和5年)2月27日

コンブ

# 昨年の好評受け2年目

養殖業者と連携し魅力発信

大阪・くらこんの新商品

レモン酢味の昆布チップス

ロングサイズのさける昆布

果実酢 昆布チップス

さける昆布

## ③昆布の魅力発信による付加価値向上、消費拡大

### 【町のPR活動】

⇒島内外でのイベントで昆布PRを実施。

【おしゃぶり昆布作り体験】

【昆布花折り体験】

【昆布と背くらべ】

## ③昆布の魅力発信による付加価値向上、消費拡大

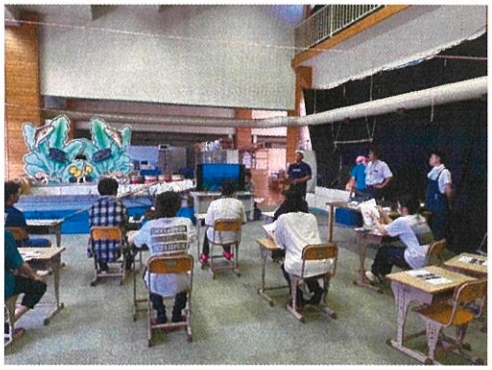
### 【漁業者によるPR活動】

⇒首都圏でのPR事業「こんぶの話」及び「昆布花折体験」を実施

⇒島内で大学生誘致の際に「こんぶの話」及び「昆布花折体験」実施

【東京都港区　札ノ辻スクエアでのPR活動】

【島内でのPR活動】



## ④ふるさと教育・環境教育

故郷教育の一環として地元の小中学生に対し、昆布集め体験を実施。

## ④ふるさと教育・環境教育

故郷教育の一環として地元の小学生に対し、こんぶの話(出前授業)を実施。

## ④ふるさと教育・環境教育

ブルーカーボンの取り組みの説明（環境教育）

# Jブルークレジット®認証申請について

$CO_2$吸収量の調査・算出に関する具体的な手法
認証を受けるに当たり、苦労した点など

## Jブルークレジット®の認証・発行状況

【令和５年度】

対象生態系　2019年～2023年　鴛泊地区で生産された養殖昆布
2023年　鴛泊港本港地区内で生産された養殖昆布

認証対象吸収量/認証クレジット量　37.8［t-$CO_2$］

クレジット購入者：３件（全量）

【令和６年度】

対象生態系　2024年　鴛泊地区で生産された養殖昆布
2022年　鴛泊港本港地区内で生産された養殖昆布
2020年～2024年　鬼脇地区で生産された養殖昆布

認証対象吸収量/認証クレジット量　31.3［t-$CO_2$］

クレジット購入者：



## Jブルークレジット®認証申請について

【令和５年度スケジュール】

R5. 5月　初回打合せ
R5. 6月　調査～
R5.10月　仮申請・現地調査
R5.12月　本申請
R6. 1月　審査認証委員会
R6. 2月　クレジットの認証・発行、公募

# 吸収量の調査・算定について

調査
養殖ロープの長さ
×
調査
単位ロープ長
当たりの湿重量
×
文献
ブルーカーボン
残存係数

【種コンブ(1年目)】
・どぶ漬け作業の際の宗谷地区水産技術普及指導所の調査実績より算定

【成コンブ(2年目)】
・特定養殖共済契約通知書より算定

【種コンブ(1年目)】
・6～7月頃に海上に張られている種昆布を刈り取り湿重量を調査

【成コンブ(2年目)】
・6～7月水揚げした際の成コンブ湿重量を調査。
・前年11月に成コンブスタート時の湿重量を調査

【含水率、P/B比、炭素含有率】

・北海道開発局プレス_令和3 年度 北海道港湾のブルーカーボン定量化検討会

・コンブ漁場におけるブルーカーボン貯留評価の試み_2022 年度北海道開発技術研究発表会論文

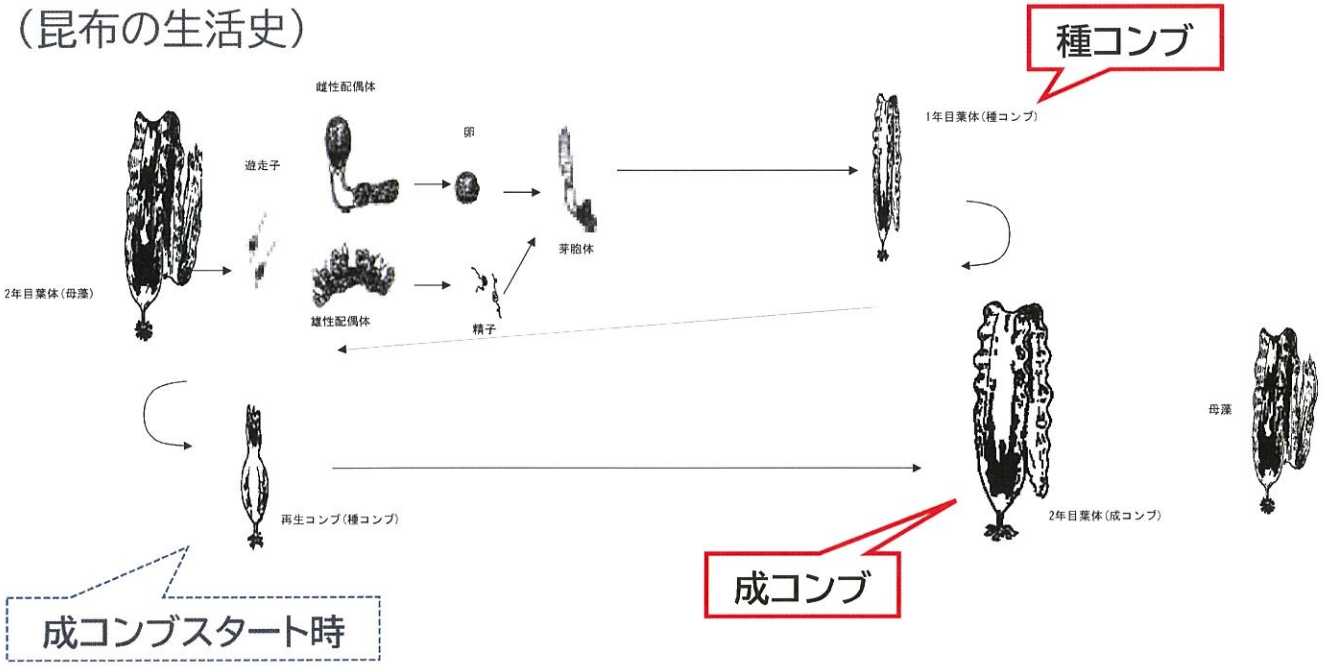
・ブルーカーボンの定量化検討_海と港NO40

【調査協力】 北海道開発局稚内開発建設部、宗谷地区水産技術普及指導所利尻支所

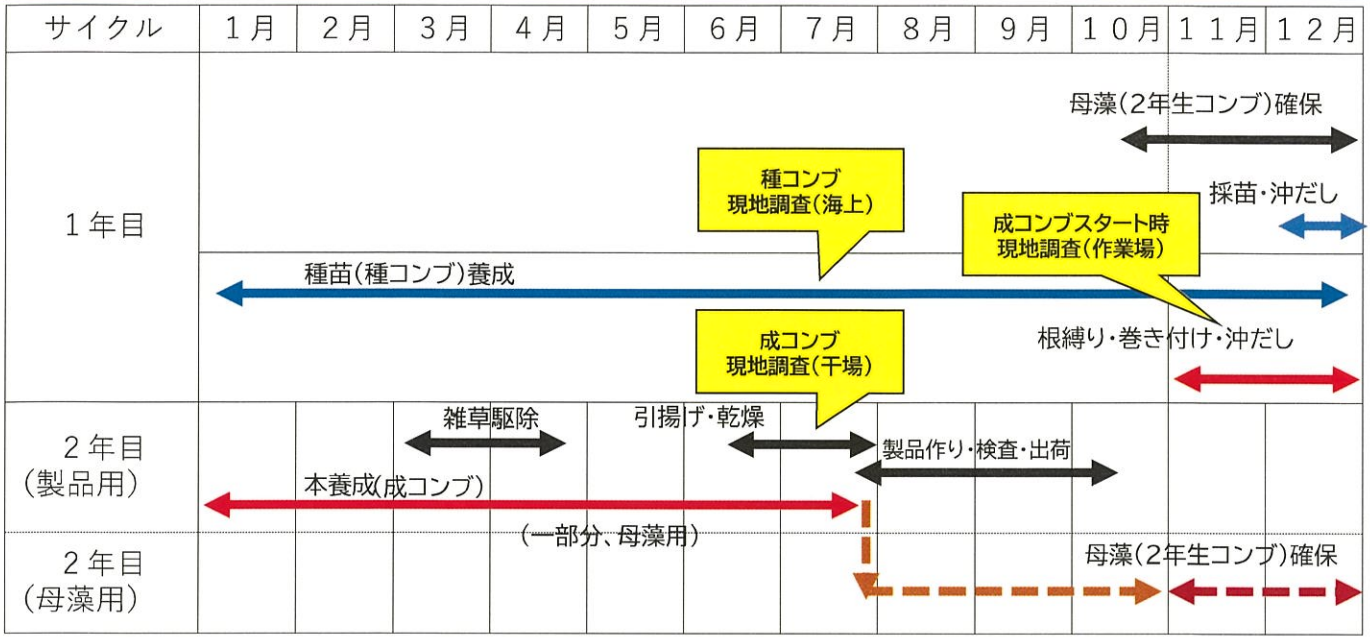


# 吸収量の調査・算定について

（昆布の生活史）



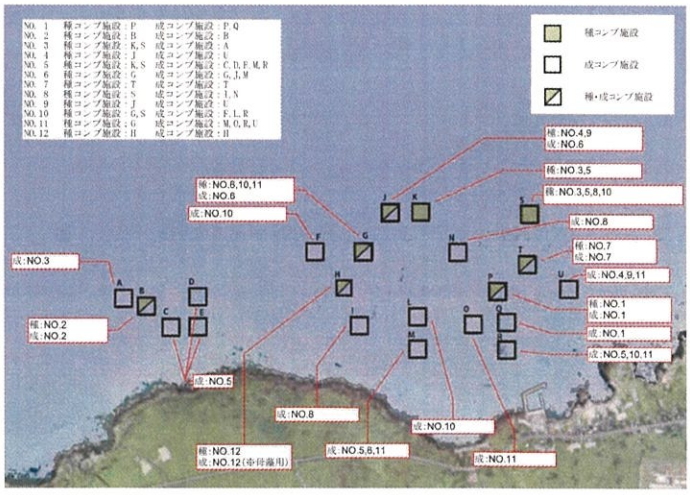
# リシリコンブの養殖工程






# リシリコンブの養殖工程

○種コンブと成コンブは、養殖区域内で別々に養殖
○種コンブの養成期間は前年12月から11月まで（約１年間）
○成コンブの海面での養成期間は前年12月から７月まで

| 養殖区域 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 |
|---|---|---|---|
| 種コンブ（1年目） | 種苗養成 | 種苗養成 | 種苗養成 |
| 成コンブ（2年目） | 本養成・収穫 | 本養成・収穫 | 本養成・収穫 |

→ 種の引継ぎイメージ